

青梅市社会教育委員会議 4 月定例会会議録

平成 28 年 4 月 19 日

201 会議室

出席者 委員 10 名

事務局 3 名

1 開 会

【議 長】九州の熊本を震源とする大地震で連日報道されているが、被害の大きさに愕然とする。この東京も同様の地震が 30 年以内に約 70% の確率で起こるといわれている。今回のことで都民も防災意識が高まってくるのではないか。我々も心構えをもって生活をしていかなければならない。

【課 長】4 月 1 日大きな人事異動があり社会教育課でも 1 名の異動があった。5 月 14、15 日釜の淵新緑祭が行われる。皆様お越しいただきたい。

2 報告事項

(1) 人事異動について (報告資料 1)

【事務局】事務局から概要説明。

(2) 平成 28 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について (報告資料 2)

ア 日 時 平成 28 年 4 月 16 日 (土) 午後 2 時

イ 場 所 西東京市保谷こもれびホール

ウ 出席者 宇津木議長、小林委員、山崎委員、新藤委員
随行木下、土屋

【事務局】事務局から概要説明。

【議 長】本来であれば総会の後に講演会があるのだが、今回は社教連の問題を取り上げることとなった。この件については、後程協議事項で協議する。

(3) 生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭 2016～の開催について (報告資料 3)

【事務局】事務局から概要説明。

【議 長】日程が従来は 5 月 10 日前後の土、日曜日の開催であったが、今年は 5 月 14、15 日で開催される。飲食物については業者が行うとの事。何団体出るのか。出店する場所はどこになるのか。

【事務局】8 団体出る。釜の淵公園側と、釜の淵市民館側に分けて出店する。

【議 長】昨年も食のフェスティバルとバッティングしていたと思うが、毎年バッティングするのか。市内の行事なので、そのあたり調整できないのか。

【事務局】毎年バッティングするわけではない。重ならないように調整していきたい。

(4) 青梅市社会教育委員会議 3 月定例会会議録について (報告資料 4)
【事務局】資料にもとづき説明。

3 協議事項

(1) (一社) 全国社会教育委員連合の 5 月理事会、総会における提案について

(資料は報告資料 2 と同じ)

【事務局】事務局から概要説明。意見あれば事務局に今月いっぱいいただきたい。事務局を通して今年度会長市である八王子市に意見を上げたい。

【議長】総会に行かれた委員の意見はいかがか。

【委員】組織の役割が逆に見えなくなってきた。会員から上がってきた会費で運営していくので充分ではないのか。

【議長】資金が足りないから下さいというような流れになってしまっている。社教連という組織自体が社会教育委員から離れてしまっているように感じる。組織のあり方が意見でも出ているが、もっと透明性のある繋がりを感じさせるような組織作りに変えるべき。事業内容も潤沢に資金があるわけではないので、賄える範囲でやればよい。存続すべき事業があるのなら組織を見直し、皆が納得すれば足りない分を寄付や会費で賄うことができる。しかし、現状の提案では納得できない部分がたくさんある。時間をかけて協議して一つの形にまとめていってほしい。

【委員】社会教育法に存立意義があるのだから、全国組織はあってしかるべきという考えもある。しかし、実際は財政的に危機的な状態。意義はあるのだから何としてもやっつけていかなければならないと言ってもいいのではないかと思う。

【委員】寄付という言葉だが、ほぼ強制のようになるのではと感じている。

(2) 青梅市スポーツ振興審議会委員の推薦について (協議資料 2)
～引き続き森田委員で決定～

(3) その他
～5 月 13 日付で退任される委員から挨拶～

4 その他

【事務局】その他の配布物について説明。

次回定例会 平成 28 年 5 月 17 日 (火)